

# リツキシマブ/ドキシソルビシン・ビンクリスチン・シクロフォスファミド・プレドニゾン(R/CHOP)療法を受けられる方へ

ID

患者氏名

		入院	1日目	2日目(退院)
日付				
目標		□化学療法が開始できる	□化学療法が開始できる □治療継続に支障をきたす副作用がみられない	□合併症なく退院できる
治療	抗がん剤	入院日は治療はありません。	アレルギー予防薬を内服または点滴した後、抗がん剤リツキシマブ(薬品名:リツキサン)を点滴します。 はじめは点滴速度をゆっくりにし、30分ごとに検温して問題がなければ点滴速度を上げていきます。 <b>リツキシマブ(商品名:リツキサン)</b>	吐きけ止めを点滴した後、3種類の抗がん剤を点滴します。 <b>ドキシソルビシン(商品名:アドリアシン)</b> <b>ビンクリスチン(商品名:オンコビン)</b> <b>シクロフォスファミド(商品名:エンドキサン)</b>
	薬・内服	持参された内服薬を続行するか担当医師が判断します。 健康食品等を使用している場合はお知らせください。		プレドニゾン(商品名:プレドニン)の内服薬を5日間服用します。
副作用			<p><b>血管外漏出</b></p> <p>(点滴の刺入部の痛み・発赤・腫れ) このような症状が出たら、すぐにナースコールを押してください。</p> <p><b>アレルギー反応</b></p> <p>(発熱・吐き気・寒気・めまい・気分不快・呼吸困難感・咳・脱力感) このような症状が出たら、すぐにナースコールを押してください。</p> <p><b>眠気</b></p> <p>アレルギー予防の薬の影響で、眠気が出る場合があります。</p>	<p><b>血管外漏出</b></p> <p>(点滴の刺入部の痛み・発赤・腫れ) このような症状が出たら、すぐにナースコールを押してください。</p> <p><b>吐き気・嘔吐・食欲低下・倦怠感</b></p> <p>状況に応じて、吐き気止めを服用または点滴します。</p> <p><b>便秘</b></p> <p>状況に応じて、下剤を服用します。</p> <p><b>末梢神経障害</b></p> <p>指先や足趾に痺れや違和感を感じることがあります。このような症状が出たら、医師または看護師に伝えてください。</p>
検査		採血を行います。 指定された時間から蓄尿を開始します。 外来で超音波検査、心電図を実施していない場合、入院日に実施します。	採血を行います。 指定された時間で、蓄尿を終了します。	特にありません。
測定	検温	入院時・19時頃に検温にうかがいます。	リツキシマブ開始後、30分毎に検温します。 リツキシマブの点滴中は心電図モニターを付け、終了したらはずします。	1日2回<午前6時、10時>測定します。 さらに状況に応じて、適宜測定します。
	体身長	入院時に身長・体重測定を行います。	午前6時(起床時)と、16時に体重を測定します。	
日常生活	活動	制限はありません。	時間を決めて点滴をしますので、できるだけお部屋にいてください。点滴中はできるだけベッド上で過ごしてください。	
	清潔	入浴の制限はありません。  手洗い・うがいをして感染を予防する習慣をつけましょう。毎食後、歯磨きをして口の中を清潔にしましょう。	点滴中は入浴できません。朝10時までに入浴をすませてください。	
	食事	制限はありません。栄養のバランスが取れた食事を心がけましょう。水分を十分に摂りましょう。		食事の時間にこだわらず、食べられそうなときに食事をしてください。 また食事の内容を変更できますので、ご相談ください。水分を十分に摂りましょう。
説明		医療事務(クラーク)が病棟を案内した後、入院生活の注意事項を説明します。 同意書がある場合は看護師にお渡しください。	心電図モニターを装着しているとき、トイレに行きたくなったらナースコールを押してください。 転倒・転落に気をつけましょう。	治療終了後、医師の許可で退院できます。以降、外来での治療になります。 <b>リツキシマブ(薬品名:リツキサン)の治療日は自動車の運転はできませんので、公共交通機関を利用して来院してください。</b> 退院後の生活・外来の日程について看護師が説明します。